

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### ティモシェンコ前首相等に関する動き

・30日、プシオンカ検事総長は、1996年のシチェルパニ元最高会議議員暗殺事件の捜査に関し、ティモシェンコ前首相を同事件の証人として召喚する可能性がある旨発言。

・31日、同検事総長は、「ウクライナ統一エネルギー・システム」社に関する同前首相に対する訴追の他にシチェルパニ元最高会議議員暗殺、露国防省に対する4億550万米ドルにのぼる負債の国家予算への移管等に関する4件の刑事訴追が行なわれる可能性がある旨発言。

・31日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナ政府が依頼した国外の法律専門家グループがティモシェンコ前首相問題に関する評価を近日中に発表する予定である旨発言。

#### 言語関連法案審議を巡る動き

・28日、コレスニチェンコ地域党最高会議会派副代表は、言語関連法案は6月5日以降に最高会議本会議において改めて審議される旨発言。一方、野党各党は、同法案採択を防ぐべく、6月5日に反対集会を実施することを決定。

#### 大統領の動き

・28日、ヤヌコーヴィチ大統領は、我が国円借款により建設されたボリスポリ国際空港ターミナルDのオープニング・セレモニーに出席。

・29日、ヤヌコーヴィチ大統領は、新任裁判官の宣誓式及びオリンピック・ハウスのオープニング・セレモニーに出席。

・30日、ヤヌコーヴィチ大統領は、サッカー欧州選手権ウクライナ準備・実行委員会の会合に出席し、選手権に向けたインフラ整備は完了した旨発言。

・1日、ヤヌコーヴィチ大統領は、キエフ州へ出張し、スラウーティチ市建立25周年記念式典出席、及びコカ・コーラ社の新工場視察等を実施。

#### その他

・28日、トゥルチーノフ「パチキフシナ」党第一副党首は、「統一野党」の綱領は7月30日の「統一野党」総会において承認される予定である旨発表。

・31日、憲法裁判所は、最高会議議員は国際条約破棄に関する法案を提出する権利を有さないとする1月11日付最高会議規則の修正に関する法律は違憲である旨判断。これを受け、1日、「BYT - パチキフシナ」所属議員は、「ハルキフ合意」破棄に関する法案を最高会議に提出。

・1日、プシオンカ検事総長は、ヤヌコーヴィチ大統領等に対しドニプロペトロフスク市連続爆発事件に関与した疑いの4名を特定した旨報告。

### 2. 経済

#### マクロ経済

・1日、ムーデーズ格付会社は、ウクライナの銀行システムのネガティブな見通しを維持するとともに、ウクライナのGDP成長率を2011年の5.2%から、2012年は2.5～3.0%に低下すると予測。世界経済の脆弱な見通しが、ウクライナの輸出需要を抑えるであろうとし、今後12～18ヶ月間、銀行貸し付けに対してのプレッシャーを与えるだろうとの見方を示唆。

#### IMF

・30日、IMFは、協定第4条に基づき、21～28日にかけて、キエフを訪問した結果、ウクライナはいくつかの進歩をしているが、まだ困難を抱えている旨報告。IMFはウクライナ政府と中央銀行は経済安定化のための努力を行っており、最近の年金改革や新しい税改革を歓迎するとしながら、ウクライナはまだ重要な課題を解決し、国内外の課題を実行する必要がある旨指摘。IMFはウクライナ政府に対して、高所得者に対する税率の引き上げや税免除の終了、支出の削減、柔軟な為替相場の導入、銀行システムの強化等を勧告。

#### その他

・29日、ドニプロペトロフスク市は、小型の科学衛星マイクロサット(Microsat)の改良のため、国家宇宙庁とプロジェクト契約を締結した旨報告。本衛星は2013年の終わりにブラジルのアルカトラナ宇宙基地(Alcatrana spaceport)からサイクロン4ロケットで打ち上げる予定であり、日本の衛星も同時に打ち上げられる予定。

#### ガス問題

・29日、エネルギー・石炭産業省は、今後エネルギー分野における米国との協力を深化させる意向である旨発表。

・29日、アザーロフ首相は、トルクメニスタンにおいて、ウクライナは今後もガスの代替供給源の模索を継続する旨、及び、トルクメニスタン産ガスの直接輸入に関心がある旨発言。

・31日、エネルギー保障問題に関するウクライナ・米作業部会の会合に出席のため米国訪問中のボイコ・エネルギー・石炭産業相は、本会合において今後半年間の優先課題が決定した旨、及びエネルギー分野における両国協力は安定的に発展している旨発言。また、同相はシェブロン社の代表者と会談し、ウクライナにおける米企業による非従来型ガスの開発事業への参加は、エネルギー分野における両国協力関係の主要な方向性である旨発言。

### 3 . 外政

#### アザーロフ首相の訪露

・26日、アザーロフ首相は、訪露し、「統一ロシア」党大会に出席後、プーチン大統領及びメドヴェージェフ首相と会談。プーチン大統領及びメドヴェージェフ首相は、ガス契約問題を含む両国関係を遮っている問題解決への強い意向を表明。アザーロフ首相は、ウクライナはガス価格の割引ではなく標準的市場価格への契約の見直しを求める旨強調。また、双方は、原子力発電所建設及び航空機製造等の共同事業に関し協議。

#### アザーロフ首相のトルクメニスタン訪問

・29日、アザーロフ首相は、トルクメニスタンを訪問し、ベルディムハメドフ大統領と会談において、ウクライナ企業のトルクメニスタン市場進出問題及びトルクメニスタンからウクライナへ供給可能なガス輸出量等に関し協議。

・30日、アザーロフ首相は、アシガバットにおいて開催されたCIS首脳会合(首相レベル)に出席。同首相は、本会合においてウズベキスタンのCIS自由貿易圏加盟問題等に関し協議された旨発言。

・同日、同首相は、メドヴェージェフ露首相と会談し、次回ウクライナ・露経済協力政府間委員会の会合を6月27日にドネツクにて開催することで合意。アザーロフ首相は、6月27日の会合は大きな成果が期待できる旨発言。

#### その他

・28日、リトヴィン最高会議議長は、ヴォロネジ(露)を訪問し、ウクライナ・露議会間委員会の会合に出席。また、同議長は、ナルイシュキン露国家院議長と会談。

・31日、ヤヌコーヴィチ大統領は、来訪中のラヒムソダ・タジキスタン経済発展貿易相と会談し、両国貿易経済協力関係に関し協議。

・31日、ヤヌコーヴィチ大統領は、来訪中のアーメド・インド人的資源開発兼外務担当閣外相と会談し、ウクライナはインドとの協力関係拡大を重視している旨発言。

### 4 . 防衛

・28日、アザーロフ首相は、2013年に国連平和維持要員のための地域トレーニングセンターをウクライナに開設する旨発言。

・29日、ヤヌコーヴィチ大統領は、国連平和維持軍国際日に際し、ウクライナ軍人及び警察官の参加者に感謝の意を評すと共に世界の様々な対立の防止及び沈静化に貢献している旨発言。

・30日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナ軍と軍産複合体企業の改革及び開発に関する委員会の規定を承認。本委員会は大統領の諮問機関であり国防分野におけるウクライナの国益に対する潜在的・現実的脅威の分析が主任務。

(了)